

九州地本、中国地本 合同レク開催

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4301
22年11月18日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。

早いもので11月も中旬が過ぎて、業務も繁忙期を迎えています。また気候も昼夜の温度差があり体調を崩さないように気を付けていきましょう。

11月12日。約3年ぶりに九州地本と中国地本の合同レクレーションとして、福岡でボウリング大会を実施しました。ここに至るまでにはコロナ禍ならではの苦悩がありました。

実行委員会の立ち上げ

思い起こせば6月11日に実行委員会を立ち上げました。コロナ規制がほぼ解除されたものの最善の配慮を考えながらリモートにて幾度となく打ち合わせを行いました。

初対面のメンバーもいたので最初はぎこちない進行で思った事も上手に伝えられない感もありましたが回を重ねるにつれてスムーズに行くようになりました。中心となった福岡の方々には感謝の気持ちがあります。

開催当日

天気にも恵まれて開催の日を迎えました。長崎からの参加メンバーも、心躍らせながら朝を迎えたことと思います。その理由の一つが、9月23日に開業した西九州新幹線を利用する事です。私も初めて乗車する新幹線「かもめ」に、遠足を前にした子供の様にワクワクしました。



独特のリレー方式の新幹線でしたが快適な乗り心地で会場に到着しました。



会場には40名ほどが集まりました。中には家族で参加された方もいらつしやいました。各レインには地本・支部入り混じつての組み合わせでしたが、直ぐに溶け込み盛り上がりがありました。上手下手は関係ありません。ちなみに優勝は福岡の組合員の奥様でした。



ボウリング発祥の地長崎のメンバーはそれなりの成績でしたが・・・3位までの入賞とブリー賞以外にも全員に参加賞があり、実行委員会の心づかいを感じました。また、地本対抗戦では中国地本が勝利し、トロフィーを持ち帰りました。

このトロフィーは今後共同レクが開催される度に勝利した地本が持ち帰る事になっています。



午後1時頃には表彰式も終了して、昼食を兼ねた懇親会の会場に移動しました。

おいしい中華料理を食べながら、各支部の紹介やメンバーの自己紹介がありこの頃には参加者全員が一つになったように感じました。

感じました。そこには男女、年齢、住んでいる地域などは全く関係ありませんでした。



共同レクがもたらした「キズナ」

ネット社会、そしてコロナ禍において、昨今は居住している地域や職場においてもお互いを思い合う様な気持ちが薄れていると感じます。いくら大きな団体であっても一人一人を大切にしなければなりません。郵政ユニオンは日頃より「決して一人にさせない」を合言葉に活動しています。

今回の共同レクリエーションを通して、実行委員、参加者、残念ながら参加出来なかった方々を含めて「キズナ」をより強固なものにしたと思います。ありがとうございます。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

